

第21回岐阜県国保地域医療学会研究発表者一覧

| 会場 | 分類名 | 番号 | 演題名 | 施設名 | 発表者 | 職種 | |
|---------------------|---------------------|------------|--|--------------------------------|---------------------|-----------|---------|
| 第1会場 10:00～12:11 | 看護Ⅰ | 1 | 胸腰椎圧迫骨折患者の安静について | 国保坂下病院 | 加藤 千恵 | 看護師 | |
| | | 2 | 病棟と訪問看護の連携を見直す ～在宅で長く過ごすために～ | 国保上矢作病院 | 今井 郁 | 看護師 | |
| | | 3 | 身体拘束について ～安易に行わないための意識付け～ | 国保飛騨市民病院 | 蒲 直也 | 看護師 | |
| | | 4 | 術前訪問に対する患者の意識調査 ～術前訪問の効果を知り今後に生かすために～ | 国保飛騨市民病院 | 後藤 弘子 | 看護師 | |
| | | 5 | 多職種が存在する療養病棟における現状と課題 | 国保飛騨市民病院 | 岩崎 美幸 | 看護師 | |
| | | 6 | 腹臥位療法による排便コントロールの効果 | 国保飛騨市民病院 | 谷村 こずえ | 看護師 | |
| | 看護Ⅱ | 7 | 定期受診患者のCOPD早期発見・早期治療をめざして ～COPD集団スクリーニング質問票(COPD-PS™)を導入して～ | 東白川村国保診療所 | 苅田 和子 | 看護師 | |
| | | 8 | オムツに対するスタッフの意識改善 | 下呂市立金山病院 | 今井 美咲 | 看護師 | |
| | | 9 | 「今、そこにある危険を感じて」 糖尿病予備群ドラマタ劇 | 下呂市立金山病院 | 石田 寿恵 | 看護師 | |
| | | 10 | 透析患者のシャントトラブルを早期発見するための取り組み ～STSを導入しての第一報～ | 下呂市立金山病院 | 林 和代 | 看護師 | |
| | | 11 | 自己表出困難な患者とその家族への橋渡し ～国診協版「生きて逝くノート」を活用して～ | 高山地域包括支援センター | 中村 百里 | 保健師 | |
| | | 12 | 手指衛生に対する意識向上を目指した取り組み | 県北西部地域医療センター国保白鳥病院 | 角 智美 | 看護師 | |
| | 在宅ケア | 13 | 多職種連携からみえる課題 | 東白川村国保診療所附属介護老人保健施設 | 安江 友美 | 看護師 | |
| | | 14 | 看とりに於ける暮らし(IADL)の変化 | 国保上矢作病院 | 阿部 仁美 | 看護師 | |
| | | 15 | 多職種での情報共有のための共通連携ノート作成に取り組んで | 郡上市役所健康福祉部高齢福祉課 地域包括支援センター | 安田 幸二 | 主任介護支援専門員 | |
| | | 16 | 在宅支援マイスター養成塾に取り組んで | 郡上市役所健康福祉部高齢福祉課 地域包括支援センター | 鈴木 雅秀 | 社会福祉士 | |
| 第2会場 10:00～12:11 | 保健活動 介護予防 | 17 | 「生きがい」をつなぐ。 ～その人らしく地域で暮らすための訪問型介護予防事業～ | 国保関ヶ原病院 | 鹿野 昭幸 | 理学療法士 | |
| | | 18 | リハビリ教室の現状 ～中津川市通所型介護予防事業の業務委託を受けて～ | 国保坂下病院 | 三尾 奈穂子 | 理学療法士 | |
| | | 19 | 5歳すこやか相談から見えてきたこと | 大垣市保健センター | 宗宮 真美 | 保健師 | |
| | | 20 | 健康福祉推進計画実態調査における心の健康づくり関連項目についての検討 | 郡上市役所健康福祉部健康課 | 蒲 とよみ | 保健師 | |
| | | 21 | 第2次郡上市食育推進基本計画策定について ～市食育推進会議の取り組み～ | 郡上市役所健康福祉部健康課 | 川島 婦美子 | 栄養士 | |
| | | 22 | 第2次郡上市健康福祉推進計画策定について (第1報)基本理念と優先健康福祉課題について | 郡上市役所健康福祉部社会福祉課 | 岩屋 祥暢 | 事務 | |
| | リハビリ テーション | 23 | 第2次郡上市健康福祉推進計画策定について (第2報)基本計画について | 郡上市役所健康福祉部健康課 | 岩田 亨一 | 事務 | |
| | | 24 | 「妊娠期の全戸訪問事業」の取組みについて ～妊娠期からの切れ目ない支援のために～ | 飛騨市役所市民福祉部健康生きがい課 | 元田 由美子 | 保健師 | |
| | | 25 | リハビリを受ける立場になってみて ～想像と実際～ | 国保飛騨市民病院 | 森本 彰 | 理学療法士 | |
| | | 26 | 在宅支援におけるチャットを活用した多職種連携 | 国保飛騨市民病院 | 巢之内 大輔 | 理学療法士 | |
| | | 27 | 地域包括ケア病棟におけるリハビリテーションの取り組み | 国保上矢作病院 | 田中 資久 | 理学療法士 | |
| | | 28 | 疼痛部位の低周波治療時の出力アンペアー特性 | 東白川村国保診療所 | 伊神 和史 | 理学療法士 | |
| | 薬局 その他 | 29 | 住民と語る地域包括医療・ケアのまちづくり ～病院祭を開催して～ | 国保飛騨市民病院 | 黒木 嘉人 | 医師 | |
| | | 30 | 地域交流サロン第1号ができました | 東白川村国保診療所 | 阪 哲彰 | 医師 | |
| | | 31 | 県北西部地域医療センター国保白鳥病院薬局の現状と今後 | 県北西部地域医療センター国保白鳥病院 | 上村 克也 | 薬剤師 | |
| | | 32 | 中小病院における麻薬管理システムの構築について | 国保飛騨市民病院 | 畑尻 哲也 | 薬剤師 | |
| | 第3会場 10:00～12:11 | 検査・放射線 | 33 | 高感度トロポニンⅠの基礎的検討 | 下呂市立金山病院 | 和田 久男 | 臨床検査技師 |
| | | | 34 | visual EFについての検討 | 下呂市立金山病院 | 瀧藤 和人 | 診療放射線技師 |
| | | | 35 | ランゲルハンス細胞組織球症の一例 | 国保坂下病院 | 亀山 亜希子 | 診療放射線技師 |
| | | | 36 | 血圧脈波検査の統計について | 国保上矢作病院 | 川上 優花 | 臨床検査技師 |
| | | | 37 | 入院患者における大腸CTの取り組み | 国保関ヶ原病院 | 細野 尚志 | 診療放射線技師 |
| | | | 38 | 当地域における血圧に関わる諸因子と心血管イベント発症との関連 | 県北西部地域医療センター国保和良診療所 | 小林 真一朗 | 医師 |
| | | 臨床 施設ケア | 39 | 当院でPPHを行った患者3名の追跡調査 | 国保飛騨市民病院 | 林 弘賢 | 医師 |
| | | | 40 | 当院における心房細動患者の検討 | 東白川村国保診療所 | 北川 浩司 | 医師 |
| 41 | | | 退院指導の問題点を考える ～看護師および患者・家族へのアンケート調査から～ | 国保坂下病院 | 茂澄 詔子 | 看護師 | |
| 42 | | | 食の連携を目指して 郡上市における食形態マップへの取り組み | 郡上市役所健康福祉部高齢福祉課 地域包括支援センター | 末武 麻悠子 | 保健師 | |
| 診療体制 施設の運営管理 | | 43 | 当院の地域医療における救急受け入れの課題 ～高齢者を対象としたサブアキュートの役割を考える～ | 県北西部地域医療センター国保白鳥病院 | 養島 浩子 | 看護師 | |
| | | 44 | 広域にまたがる診療所群において電子カルテを導入した事例報告 | 県北西部地域医療センター国保和良診療所 | 河合 真英 | 事務 | |
| | | 45 | 当院における電子カルテ導入前後の患者待ち時間の検討 | 県北西部地域医療センター国保和良診療所 | 川尻 佐知子 | 看護師 | |
| | | 46 | 5S活動を進める医療ミス・事故防止、健全経営への取り組み | 国保飛騨市民病院 | 工藤 浩 | 医師 | |
| | | 47 | 当施設における職員参加型「ワーキンググループ」「教育研修グループ」の取り組み | 県北西部地域医療センター和良介護老人保健施設 | 蒲 麗華 | 介護士 | |
| | | 48 | 今後の人口動態と医療機関(施設)の規模についての意識調査 (岐阜県国民健康保険診療施設協議会共同研究) | 県北西部地域医療センター国保和良診療所 | 廣瀬 英生 | 医師 | |